

# 福山藩の俄谷御趣法砂留

福山市 羽原立夫  
○広島県 恵柳信政

## I. まえがき

福山藩が江戸時代に砂留普請としたことは、既に「福山藩の砂留」と題して昭和52年6月の砂防学会に発表された。この度の報告は、その後天保年間<sup>の</sup>砂留普請帳が見つかったため、この普請帳を解説しようとするもので、日本砂防史の編纂におたり建設省砂防課より依頼されているものの一つである。両方<sup>の</sup>ことについて発表することにしたのは、この普請記録が稀に見る歴史事実であり前回の発表の補足的意義ととらえることのよい意味合いを感じているからである。また砂留の研究に御墨力<sup>を</sup>いただいた福山市の人々に報ゆる意味もある。

## II. 普請記録

1. 天保5年4月分郡山手村俄谷筋御普請御入用仕出帳  
天保5年4月当村俄谷巻番砂留置御普請人足貸金村請仕持帳  
天保5年4月俄谷砂留丸川堤沿御趣法御普請貸銀人足着帳
2. 天保6年3月俄谷筋所之砂留御普請人足着帳
3. 天保6年4月俄谷御趣法砂留御普請人足貸金渡、帳
4. 天保6年御種方、御印方、村方普請場所附帳
5. 天保9年俄谷御趣法砂留御普請人足着帳
6. 天保10年俄谷砂留御趣法御普請 貸銀人足着帳  
同 人足貸銀勘定帳扣  
同 小役目着帳  
同 賄帳  
同 御銀取小覚帳
7. 天保13年俄谷御趣法御普請人足貸銀疲候書上帳
8. 弘化3年津之郷村願成寺砂留御普請煙役人足出丸分
9. 立政12年開地地内堤、俄砂留貳番普請下積和

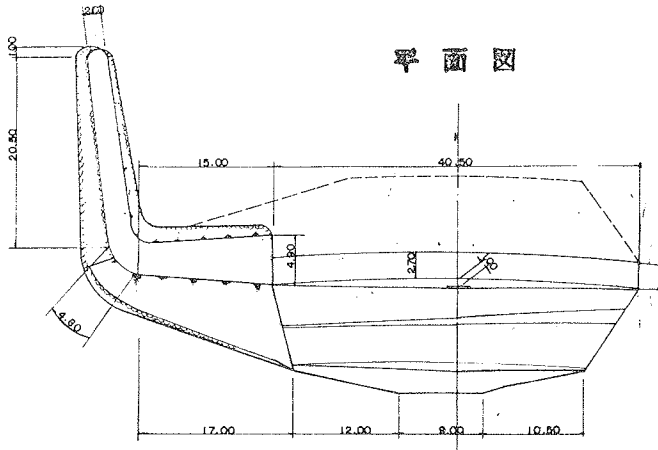
## III. 砂留工事に係る名称等

1. 構造物名称 砂留水前口敷石、砂留水流、裏羽原、裏踏出し、砂留橋大
2. 藩役人等 御上、御下、庄屋役人、才持、賄内夫、湯水おし、茶ぼん、石ぼん、
3. 人足 石方(石築、割石方)、石方手伝、石垣り人足、石取越し(石出し)、羽原寄、(羽原取) 石持込、砂扱寄、土持、除土手上置仕立、瀬替土手繕、杭頭揃伐取、煙役人足。
4. 道具 新搦(志し搦、真搦)、玉綱(笠綱)、わら竹、志ん木、可ら、涼台、玉繩、筵、丈鉋、掛矢、手揃、寝搦、手尺竹、石やて墨

Ⅳ. まとめ

天保の御趣法砂留普請算.

種別	施行	人足	石築	御上	左金	右金	役人	職	工事日数	石築日数	事業費	単価	摘要
御趣法	(1834) 天保5年4月1~15日	1006	281						15	11	1.879. <sup>16</sup>	石築2.21	
	天保6年4月4~10日	483	51						7	7	748. <sup>15</sup>	人足1.50	
	天保9年2月9~18日	656	64	24	7	24	30		9	8	1.227. <sup>60</sup>		
	天保10年8月25~9月3日	296	121	18	2	18	23		8	7	1.517. <sup>00</sup>		
	天保13年3月4~14日	572	101	25	11	28	33		9	9	1.120. <sup>65</sup>		
	計	3513	618						48	42	6.492. <sup>56</sup>		
壱番砂留	天保5年4月14.15.16日	96. <sup>8</sup>	62. <sup>4</sup>						3	3	226. <sup>33</sup>		
七の他 壱番砂留	天保6年3月5~14日 期23.24.28日	393	120	石築	湯丸	材料			13	11	賃米 6石7斗		
	計	489. <sup>8</sup>	182. <sup>4</sup>						16	14			
原成許砂留	(1846) 弘化3年7月28.29日	232							2		(高岩等仕.)		但山手村人足 24.
	計												



正面図

